

令和8年度全国理科教育大会 新潟大会

担当都道府県枠(黄色が全国依頼枠)

【研究協議（コーディネーター・意見提示者）】

分科会	コーディネーター(総数14)	意見提示者(総数14)
第1分科会 物理①「個別最適な学びと協働的な学びで、探究心を育む物理教育実現のための授業づくり」	新潟	福井
	1(1名)	8(1名)
第2分科会 物理②「探究心を育む物理教育実現のための観察・実験の工夫」	富山	新潟
	2(1名)	9(1名)
第3分科会 化学①「個別最適な学びと協働的な学びで、探究心を育む化学教育実現のための授業づくり」	福井	長野
	3(1名)	10(1名)
第4分科会 化学②「探究心を育む化学教育実現のための観察・実験の工夫」	新潟	石川
	4(1名)	11(1名)
第5分科会 生物 「探究心を育む生物教育実現のための授業づくりや観察・実験の工夫」	長野	新潟
	5(1名)	12(1名)
第6分科会 地学 「探究心を育む地学教育実現のための授業づくりや観察・実験の工夫」	石川	富山
	6(1名)	13(1名)
第7分科会 「地域産業との連携で探る、新たな価値の創造のための理科教育」	新潟	新潟
	7(1名)	14(1名)

【研究発表（座長）】 研究発表の論文数次第では、開設しない会場があります。

会場	座長(総数20)	
第1会場 物理分野①	新潟	全国から 15枠に3名
	15	
第2会場 物理分野②	福井	
	15	
第3会場 物理分野③	長野	全国から 16枠に5名
	15	
第4会場 化学分野①	新潟	
	16	
第5会場 化学分野②	富山	
	16	
第6会場 化学分野③	石川	
	16	
第7会場 化学分野④	新潟	
	16	
第8会場 化学分野⑤	石川	
	16	
第9会場 生物分野	新潟	
	17(1名)	
第10会場 地学分野	新潟	
	18(1名)	

※各科目の会場数については、現時点、岩手大会の会場数を参考にしています。